

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[サービスポートの外観](#)

[スタンドアロンコントローラ](#)

[ポート機能を保守して下さい](#)

[同じサブネット\(サービスポートVLAN\)到達可能性](#)

[リモートサブネット\(サービスポートVLANと別の\)到達可能性](#)

[設定](#)

[確認](#)

[AP SSO モードのポートを保守して下さい](#)

[WiSM コントローラ](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

この資料は Cisco Unified 無線ネットワーク コントローラ (CUWN) で service ポートの設定および動作理論を記述し、配備に一般指標を提供したものです。このドキュメントでは、次のことを目的としています。

- 外観および最良の方法ガイドラインをネットワークに Cisco スタンドアロン コントローラ (55000/8500) を接続するために提供します
- 提供しますワイヤレスサービス モジュール/コントローラ (WiSM) のサービスポート問題を解決する外観、最良の方法およびコマンドを

前提条件

要件

Cisco は持っています Cisco ワイヤレス LAN コントローラ のナレッジを推奨します

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Cisco ワイヤレス スタンドアロン Controllers におよび WiSM モジュールに基づいています。

この文書に記載されている情報は特定のラボ環境のデバイスから作成されます。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

サービス ポートの外観

スタンドアロン コントローラ

スタンドアロン コントローラのサービス ポートはネットワーク障害の場合にコントローラのアウトオブバンド管理のために予約済みおよびシステム 回復およびメンテナンスです。また、コントローラがブート モードである場合にアクティブなただ 1つのポートでもあります。サービス ポート インターフェイスはコントローラを使用しますか。s によって出荷時設定をされるサービス ポート MAC アドレス。

ポート機能を保守して下さい

- サービス ポートは 5508 のコントロール プレーンに直接接続され、それ故に CPU を直接指します。他の物理 データ ポートはデータ平面で接続されます
- サービス ポートは 802.1Q タグを運ぶことができません、従って隣接スイッチのアクセス ポートに接続する必要があります
- コントローラはサービス ポートがサブネット 宛先 (専有物のと別のサブネット) から達できることを確認するのにスタティック・ ルートを使用します。 どんなトラフィックが一致するワイヤレス LAN コントローラ (WLC) のスタティック ルートはサービス ポートを通して着信トラフィックがコントローラの GUI を含むマネジメントインターフェイス (データ ポート) を通って来てもコントローラを、RADIUS authentication トラフィック等残します

同じ サブネット (サービス ポートVLAN) 到達可能性

- サービス ポートにゲートウェイがないし、近接のスイッチのアクセス ポートに接続されます。そう通常の場合で、近接のスイッチの同じアクセス VLAN の PC の接続によってサービス ポートにアクセスできる必要があります。PC が近接のスイッチのサービス ポートVLAN に接続され、同じ VLAN でと通信するので WLC のスタティック ルートを必要としません
 - 近接のスイッチのサービス ポートの同じ VLAN またはサブネットの配線されたクライアントを設定しないで下さい。サービス ポートが CPU/Control 平面を直接指すので、サービス ポートVLAN に多くの mulicast/ブロードキャストトラフィックがある場合高CPU を見るかもしれません
 - 管理IPアドレスによる GUIアクセスはこの VLAN から可能性のあるではないです

リモート サブネット (サービス ポートVLAN と別の) 到達可能性

リモート サブネットからサービス ポートを管理する必要がある場合リモート サブネットと通信するためにスタティック・ ルートを追加して下さい。この設定のためのポイントは次のとおりです:

- ネットワークからのサービス ポートにどこでも達し、既にスイッチ側にあっているサービス ポート サブネット ゲートウェイに宛先 10.0.0.0/8 のためのスタティック ルートにポイント 与えたいと思えば。この大きいサブネットは RADIUSサーバおよび TACACSサーバを含むネットワークで使用されるサブネット全体をカバーするかもしれません。以下はこの設定の結果であるかもしれません
 - WLC GUI は 10.0.0.0/8 以下カバーされるすべてのサブネットからの管理IPアドレス

によってアクセスが不可能です。WLC の GUIアクセスを得るのにサービスポート IP アドレスを使用しなければなりません。これはスタティックルートと一致するすべてのトラフィックがサービスポートによってルーティングされるという事実からマネジメントトラフィックがマネジメントインターフェイスによって入っても得られます

- RADIUS認証は AAA クライアントとして WLC 管理IPアドレスを追加するかもしれませんが、認証の成功に関しては、トラフィックがサービスポート IP アドレスの送信元アドレスが付いているサービスポートによってルーティングされているのでサービスポート インターフェイス IP アドレスを使用している AAA クライアントとして WLC を追加する必要があります

-サービスポート IP アドレスがあらゆる原因がしばらくの間到達不能原因になれば、すべてのそれに続く RADIUS認証はその時間の間失敗するかもしれません

- サービスポートを見つける多くのマルチキャスト/ブロードキャストがある場合高い CPU/Crashes を見るかもしれません
- スタティックとして特定のルーティングを与えることを試みて下さい 1-2 のリモート サブネットのためであるおよび遠隔管理ワーク・ステーションを持つかもしれないです そのサブネット。この場合、WLC への GUIアクセスは利用できこのサブネットの PC からのコントローラの管理IPアドレスを使用します。この特定のルートの下でカバーされる RADIUSサーバサブネットがある場合 RADIUSサーバに達する認証要求はまだサービスポート IP アドレスとソースをたどられます

設定

WLC サービスポートを設定して下さい

設定はワイヤレスコントローラが既に設定され、設定したいと思うと仮定します

サービスポート。

DHCP のためのサービス インターフェイスを設定するために config インターフェイス dhcp サービスポート enable コマンドを入力して下さい。

DHCPサーバをディセーブルにするために、config インターフェイス dhcp サービスポート disable コマンドを入力して下さい

IPv4 アドレスを設定するために構成インターフェイス アドレス サービスポート ip-addr IP ネットマスク コマンドを入力して下さい。

リモート サブネットからサービスポートを管理するために、リモート サブネットと通信するためにスタティック・ルートを追加する必要があります

コンフィグ ルートを追加しますネットワーク IP アドレス IP ネットマスク gateway コマンドを入力して下さい。

確認

サービスポートの設定を確認するために、**show interface** によって詳述されるサービスポートコマンドを使用して下さい。

この出力が表示されます:

```
Interface Name..... service-port
MAC Address..... 50:57:a8:bc:4b:01
IP Address..... 192.168.20.1
IP Netmask..... 255.255.255.0
Link Local IPv6 Address..... fe80::5257:a8ff:febc:4b01/64
STATE ..... REACHABLE
IPv6 Address..... ::/128
STATE ..... NONE
SLAAC..... Disabled
DHCP Protocol..... Disabled
AP Manager..... No
Guest Interface..... No
Speed ..... 10Mbps
Duplex ..... Half
Auto Negotiation ..... Enabled
Link Status..... Up
```

AP SSO モードのポートを保守して下さい

- 各 (アクティブおよびスタンバイ) ユニットにサービスポートのためのユニークな IP があります。サービスポートアドレスは両方とも同じサブネットにある必要があります。これは、スタンバイコントローラという理由によります。s サービスポートは別のサブネットに、新しいルーティングを追加する必要があります。これは期待されないアクティブおよびスタンバイのコンフィギュレーションの違いを持って来ます。

ピア/スタンバイコントローラのピア サービスポート IP アドレスおよびネットマスクを設定するために命じて下さい:

```
( Cisco コントローラ ) >config 冗長性 インターフェイス アドレス ピア サービス ポートか。
( Cisco コントローラ ) >config 冗長性ピア ルートか。
```

WiSM コントローラ

WiSM モジュール内部 6500 はサービスポートが WiSM コントローラとスーパーバイザ間の通信のために使用される特殊なケースです。サービスポートコンフィギュレーションは WiSM コントローラを設定して必須です。

- WLAN コントローラ プロトコル (WCP) はスーパーバイザと WiSM-2 コントローラ間のソフトウェア接着剤です。WCP は UDP/IP で、サービス インターフェイス上のポート 10000 動作します。WiSM コントローラが稼働していれば、スーパーバイザと WiSM コントローラ間にソフトウェア ハートビートまたはキープアライブがあります。Controller 要求は UDP/IP で スロット/プロセス information.WCP のためのスーパーバイザ、サービス インターフェイス上のポート 10000 動作します
- サービスポートVLAN は chassi にローカルで、スイッチ IOS のレイヤ3 インターフェイスを持たなければなりません。サービスポートはコントローラのスイッチポート設定によって DHCP か静的IP アドレスを割り当てることができます。サービスポートの IP アドレスは、コントローラの管理インターフェイスと異なるサブネット上に設定してください、サービス

Evt:returning, rc 0, num_entries 0 for slot/port/vlan 7/10/213May 3 04:39:19: WiSM-
Evt:dman_cntrl_db_search_by_mac: Found mac 0019.30fb.ccc2 for slot/port 7/1May 3 04:39:19:
WiSM-Evt:dman_reg_arp_added: cntrl 7/1 got an ip 8.8.8.2 0019.30fb.ccc2/0019.30fb.ccc2May 3
04:39:20: WiSM-Evt: dman_proc_service_tmr_handler Service Port Timer fired for slot/port: 7/2
見るために WCP は WiSM コントローラとスーパバイザの間で交換されるパケットを送受信しま
す:

6500#debug wism wcp データ

```
May 3 04:32:54: WiSM-Evt:dman_proc_keepalive_tmr_handler: keepalive timer expired for 7/1May 3  
04:32:54: wcp-tx: src/dst:8.8.8.1/8.8.8.2 ver:1 sap2/1May 3 04:32:54: typ:req len:61  
seq:1079591 flg:0 sts:1May 3 04:32:54: 00 00 00 01 00 00 00 18 00 00 00 04 08 08 08 01May 3  
04:32:54: 00 00 00 00 00 00 00 D5 20 00 00 00 00 00 00 05May 3 04:32:54: wcp-rx:  
src/dst:8.8.8.2/8.8.8.1 ver:1 sap0/0May 3 04:32:54: typ:rsp len:45 seq:1079591 flg:0 sts:1May  
3 04:32:54: 00 00 00 01 00 00 00 08 00 00 00 01 58 5F 60 11
```